

“飛翔” 「めいせい」発刊第40号



名古屋高速6号清洲線 1面吊りエクストラードズド橋 (完成予想図 左岸下流側より新名西橋方向を見る)

「めいせい」第40号の発行にあたって

名古屋西支部
支部長

山田 正博

支部会員の皆様、日頃は支部事業にご理解を賜り心より感謝しております。

平成2年9月の支部発足当初「支部ニュースの発行」・「講師を招いた勉強会」・「知識の向上と建築士のレベルアップを目指した見学会」の3本柱が提案され、創刊号が翌年3月13日に発行されました。創刊号は初代長谷川委員長が中心となり紙面はA3判の表裏1枚で手作り感覚の支部ニュースでした。

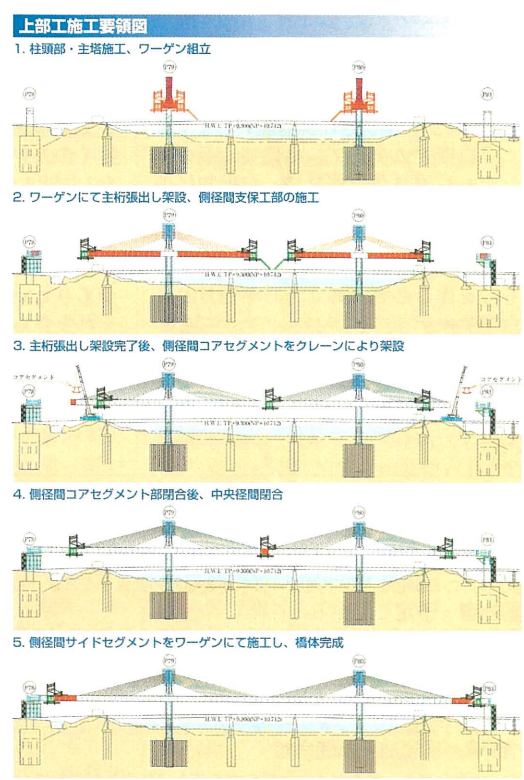
その後、会報の愛称を公募し「めいせい」と決めていただきました。20号特集は「名古屋西支部に関するアンケート調査」、30号特集はカラー刷りとなり、

歴代支部長、青年部長に集まって頂き「今までの西支部・これからの西支部」について語って頂きました。創刊より13年を経て40号特集の発行を迎える事は歴代広報委員のチームワークの賜物であると思います。

そして、「めいせい」の主幹をなす基準法解説シリーズを創刊号より担当して頂いています馬場先生、原稿執筆依頼に快く応じていただいた皆様の力強い応援があったからだと感謝しております。21世紀となり社会・経済情勢は大きく変化し建築士に対する社会的要求も厳しさを増しております。

愛知建築士会では次年度よりCPD（継続能力開発）による専攻建築士制度が運用されます。建築士業務も専門分化が進み、自分の得意とする業務を広くアピールし地域のニーズに応え、地域に根ざした建築士像が期待されております。ホームページ、支部会報を通じ適格な情報を発信してまいりますので今後ともご助言頂きます様お願い申し上げます。

エクストラードズド橋ができるまで



特集 座談会

“これからのまちづくり”と建築士の関わり方

— 点と線と面 町並みづくりは営みづくり —

座談会出席者

■美濃路まちづくり推進協議会	中村 順吉氏	後藤 昌治氏	臼井 鏡造氏
■揚輝荘の会	佐藤 允孝氏	川本 直義氏	水谷 友彦氏
■白壁アカデミア	山本 幸江氏	牛田 信彦氏	
■コーディネーター(司会)	岡島 直樹氏		

まちづくり実践報告

司会：このたび会報「めいせい」が発刊40号を迎える事となりました。そこで、記念号として、日頃まちづくりに携わっている皆さんにお集まりいただき、情報交換とともに当支部からも情報発信できる紙面を、ということで今回の座談会を企画しました。まず、ご参加いただいた皆さんの所属される会の実践報告を、美濃路まちづくり推進協議会の中村会長からお願いします。

中村：美濃路まちづくり推進協議会は、平成10年に愛知県が県建築士会に委託募集した「地域特性が反映した美しく活力のあるまちづくり」へ応募した事がきっかけです。平成10年から2年間に渡って県の助成を受けて、まちづくりを始めました。その後は、中部未来創造大賞等に応募するなど、独自の活動をしてきました。昨年読売新聞主催の「遊歩百選」に選ばれ、5月5日には名古屋城から清洲城までのウォッチングを行いました。



中村氏

協議会は、昭和62年のホープ計画をきっかけに生まれた「枇杷島みのじ会」が母体になっています。現在では、枇杷島という地域を越え、もとの美濃路を全部まちづくりの動きにしたいと活動を進めています。

司会：それでは続きまして揚輝荘の会の水谷さんお願いします。

水谷：当会は、名古屋市が策定しました新世紀計画2010の地域別計画で、千種区が平成13年に設立した「城山・覚王山地区魅力アップ事業実行委員会」の活動の中で、松坂屋創業家である伊藤家のお屋敷である「揚輝荘」の保存と活用をしようということで、昨年6月設立をしました。活動内容は、揚輝荘の保全・管理や史料の研究。それから皆さんに知っていただくためのワークショップや、そこでのコンサート等です。

佐藤：この会の特色のひとつは、非常にいろいろな立場の方に参加をいただいているということがあります。メンバーに多様性のある事が、活動を様々な形で展開できるポテンシャルを持っていると思っています。今後は、行政とのパートナーシップを組み、文化的な価値があるハードウェアとして残しておこうとの動きもあります。

司会：ありがとうございます。それでは白壁アカデミアの牛田さんにお願いします。牛田：「白壁アカデミア」は建築士会のトリエンナーレ委員会を前身に、白壁地区の優れた近代建築物の保存と活用を目的に、平成10年の9月に設立されました。

様々な活動の中で、地域主体の活動拠点というものを作る必要があり、昨年12月21日に「白壁アカデミア」がバックアップをして「住環境を考える会」を設立しました。この会で、地域住民全世帯にアンケートを取り、貴重な意見をいただきました。今後は、そこでいただいた意見をベースに活動

を広げていきたいと思っています。

まちづくりは市民が主役

司会：それではまちづくりは市民が主役ということで、市民の立場から「住環境を考える会」呼びかけ人の一人でもある山本幸江さんからご意見をうかがいたいと思います。

山本：私の活動しております白壁地区では、自ら動こうとする住民が非常に少なく、専門家の助言で「住環境を考える会」を立ち上げましたけれど、なかなか思うように活動していただけません。でも思いを語れば、少しでもこのまま静かな環境にしておきたいと皆さんが思っています。ただ、その思いをどうやって出して良いのか分からないのです。それを助けて下さるのが建築士の方達であり、専門家の方達です。



山本氏

世の中の近代化とともに、住宅環境もどんどん悪くなる方へ向かっています。他の会の方が、どのように活動してみえるか教えていただきたいと思います。司会：「揚輝荘の会」の川本さんは、建築の専門家の方々と住民の方々とのおつき合いというお立場だと思えますが、今どんな状況にあるとお考えでしょうか。

川本：わたしは、ここという市民というのは住民なのかどうかということがひとつのポイントだと思います。たとえば、揚輝荘は単なる1万坪の伊藤家の敷地だけで、そこに住んでいる住民という意味では伊藤家の方しかいらないんです。ですから、住民が主体というのとちょっと意味が違ってきます。もう少し広げた住民と考えれば、その近くに住んでいる方々が、自分達の地域にある宝物としてどう考えるかという、そういった視点になってくるかと思っています。

多様化する価値観の中で、そこに住んでいる皆が、周りの人とコミュニティを作って生活して行く事を目的としているかという疑問があります。その中で共通の財産として目を向けさせるのはいったい何かということ、この「市民」はもう少し広い意味になるのではないかと思います。例えば揚輝荘というテーマを決めた時に、これに関心のある人というのは、非常に遠方からでもやってくる。それによってその魅力がさらに引き出されていき、近くの人がこんな素晴らしいところがあったんだという宝物として感じる事ができる。その啓発活動的な市民という意味では、必ずしもその地域の限定されたものではないということです。テーマだけで動くまちづくりというのは一旦はやり易いですが、それをさらにその地域にどう繋げていくかということが、これからの課題です。市民というのは少し広範囲で、テーマに興味のある人をまずベースにしながらそれを広げていくということなんじゃないかと思って

います。

そういう意味では建築士というのは重要なポイントです。揚輝荘に限らず美濃路でも白壁でも、建物がテーマであれば建築士というのが非常に大きな役割をすることができると思います。実際、様々な活動に関わられている方もいらっしゃると思います。現在の多元的なまちづくりが、市民の活動ののかなあと感じているところです。

司会：「まちづくりは住民が主体ですよ」って言うとなんか重たく感じて、なかなか皆さんの意識が上がらないのですが、この町の雰囲気が好きだとか、こういうものを残したいだとか、こういうことをして勉強していきたいという外の人達、いわゆる市民が活動することによって住民が啓発されていくというお話だったと思います。佐藤さん、そのあたり何かご意見とかございませうでしょうか。

佐藤：論点がずれるかもしれませんが、このテーマは市民が行政かどちらが主役かといったら、市民の方が主役なのだと思います。市民が行政かということでは、行政とのパートナーシップとか、行政との協同というようになってきます。われわれの会では、当初から行政とパートナーシップを組み、バックアップしてくれるという良い関係で進んでいます。市民と行政がそれぞれの特性を生かしたかたちで寄与しなければいけないのですが、まちづくりを進めていくうえで、市民の目線

というように観点で市民が主役、というキーワードを受け取りました。司会：それでは臼井さんに美濃路の会での建築士の役割と、市民が主役という考えについてうかがいたいと思います。

臼井：この会は、最初は行政主導で設立されたのですが、その2年間が過ぎた後は県が手を引いてしまい、地域の人達とわれわれ建築士会会員が取り残されました。まちづくりに魅力がなければそれで空中分解するだろうと思われていて、実際に終わった所もありますが、美濃路はどういうわけかしぶとく未だに生き延びているわけです。それは、地域の方々がかなり積極的に活動していただけているということだと思います。西枇杷島はもう既にまちづくりが動いており、清洲も町おこしという意味を含めて活動をされています。その他新川、西区も活発ではありませんがそれなりに動いているという実態があります。建築士会の活動部隊の中でも、地域の人たちが結構動いてくれますので、孤立しているのではなく、地域と一体となってまちづくりに取り組んでいられるというのが、大きな力だと思います。行政は一斉に手を引いちゃったわけで、逆に言えば行政に縛られないで自由に自分達のまちづくりを進めれば良いということで活動できているのだと思います。

活動例としては、美濃路説明板とかポケッ



臼井氏

トパーク等デザイン提案があります。そういった成果が少しずつ積み重なって、西枇杷島町の空町屋を活用して「みのじの館」という活動の拠点が平成14年にできました。また、遊歩百選など外部からの評価を受けたことで、行政もわれわれの活動を無視できないという方に傾いてきました。われわれの活動を後追いのかたちで行政が支援してくれるという意味で、ちょっとおもしろいと感じています。

司会：美濃路街道沿いには、まだご商売をされている人達がたくさんおみえになって、この協議会にも各町の商工会の方々が参加されていると聞きました。やはり営みがあるから、市民として、あるいは住民としてのパワーが活動に生かされていると感じましたが、そのあたりはどうでしょうか。

臼井：もちろんそれはありますね。美濃路はやはり商業とか手工業が街道沿いにたくさん残っています。西区は「ものづくり文化の道」というのに美濃路も組み込んでいます。

まちづくりの流れというか、社会の価値観が、伝統的なものをどんどん活用したいという方向になってきているので、美濃路はこれからおもしろい所になるんじゃないかという気持ちはあります。

情報発信と人のかかわり

後藤：「市民」ということで、紹介したい話があります。実は昨日、隣の新川町の人から、手紙が届きました。それには、平成12年9月11日の東海豪雨の様子と共に、このような提案がありました。「電車の止まった深夜に、大勢の人が美濃路を歩いて帰ったのは、古人の人達が作り上げた美濃路が、歴史の中に見事に蘇って今の世に役立っている姿です。家並みは時代の変化とともにたたくまいを変えていきますが、昔の人が歩いた道は100年に一度と言われる天災にもびくともしずに生きていたのです。そこへ住んでいる西枇杷島町、新川町、清洲町の歴史を繋いできたその一筋の道を今一度見直してみようではないですか、そして後でその三つの町でジョイントするお祭をできないでしょうか。」その方にすぐ電話をかけ、「美濃路まちづくり協議会」というのがあり、昨年の5月5日も名古屋城から清洲城まで歩くという、遊歩百選の記念行事がありましたが、ご存知でしたかと思いたのですが、お返事がありませんでした。われわれのPR不足だったかと思うのですが、こうした提案が本当の一市民から来ているんです。まちづくり団体に関係なくとも、この美濃路をなんとか生かしたいと考えた人がいるんだ、ということで非常に嬉しかったのです。

それと同時に、この協議会ができて5年になりますが、ウォーキングを1回やっただけで、この活動は一般までは周知してないかなと思います。

■美濃路まちづくり推進協議会 ●設立 平成10年9月17日 ●会員数 32名

●発足の背景・経緯

平成10年度、愛知県が愛知建築士会に委託募集した「地域特性が反映した美しく活力あるまちづくり」へ応募、選ばれたことが始まり。平成10～11年度愛知県の助成を受ける。12年度から独自の活動を始める。

●活動内容・予定

美濃路に残された歴史的町並みを再生活用し、豊かな文化に包まれたまちづくりにより、地域の活性化を図る。

◆美濃路説明板23ヶ所設置 ◆代表的町家2軒実測調査 ◆美濃路ウォッチング実施 ◆美濃路マップ作成 ◆空町家を再生活用した、まちづくりの拠点「みのじの館」開設 ◆その他ポケットパーク等デザイン提案

古い町家を住宅や店舗として再生活用し、幅広い世代の人達が集えるまちを目指す。

美濃路に建設予定高層マンションに、歴史的町並みや地域へ配慮した計画とするよう活動中。

●一言PR/事務局・お問合せ

歴史、古民家再生、まちづくりに興味のある人は是非ともご参加ください。

西春日井郡西枇杷島町南六軒町37 みのじの館内 TEL052-502-0938 FAX052-502-0939

■揚輝荘の会 ●設立 平成15年6月21日 ●会員数 正会員45名 賛助会員25名

●発足の背景・経緯

名古屋市が策定した名古屋新世紀計画2010の地域別計画に基づき、平成13年千種区が「城山・覚王山地区魅力アップ事業実行委員会」を設立。その活動の中から、松坂屋創業の伊藤家が建てた別荘である「揚輝荘」の保存と活用を目指して、平成15年に「揚輝荘の会」を設立。

●活動内容・予定

◆揚輝荘の建物・庭園・史料の保全・管理活動 ◆揚輝荘に関する調査・研究 ◆展示パネル作成、見学ガイド ◆広報活動

●一言PR/事務局・お問合せ

揚輝荘のイベントに参加してその魅力を知っていただくと共に、「揚輝荘の会」へ入会して一緒に保存と活用にご協力をお願いします。

名古屋千種区桜が丘166 佐藤允孝 TEL & FAX 052-788-6079

イベント

- 1 ワークショップ
- 2 自然観察会
- 3 お月見コンサート
- 4 ミニセミナー
- 5 紅葉を楽しむ会
- 6 やまの手音楽祭



後藤氏

いかなきゃいけないなど、美濃路というものはまだこれからやるべきことがたくさんあるなど、改めて思っております。

司会：活動を市民の方々に知っていただくという意味で、情報発信というの必要だと思いますが、会の費用の問題もあり、大々的に情報発信するというのはなかなか難しいですね。いかがでしょう。

後藤：「枇杷島みのじ会」は県のホームページに入っていますが、一般の市民の方はあまりそういうところまでは見ないですね。「みのじ会」はときどきテレビで報道されましたが、やはり一地区と限定されていますので、「美濃路まちづくり協議会」では、もう少し一般の所まで情報発信をしなれないといけないと反省もしたわけです。

牛田：町並みというのは、お一人の一区画が広いだけでは閑静な住宅街にはならないんです。それが今まで知らず知らずのうちに、皆さんが協同してその町並みを作ってきた。今までは自然に受け入れていたことが、いろいろなところで崩れている。住んでいる個人々々は、それに気付いてきたと思うのですが、こういう会に出て一緒に活動するところまでまだ到達していない。そこを今の建築士だとか、アカデミアだとかのメンバーがお誘いをしているのですが、もうひとつ踏み込まれない。住民が市民であるということに気付いていただくというのが、まず第一歩だと思います。住民、市民の生の声を聴くことがまず行政の役割だろうと思いますので、生の声がバラバラの声にならないよう、みんなでまとまって議論していくスタイルをとっていければなあと思っています。

問題は、お住まいになってみえる方のまちづくりに対する認知が、まだ少ないことです。そういう状況の中でやはりこれは個人だけのものじゃないよ、みんなの連携があって初めてこの町の素晴らしい環境があるんだよ、ということに気付いてほしい。その問い掛けをするのが、われわれ建築士や白壁アカデミアだとかの団体の役割でもあると思っています。

司会：水谷さんにお聞きしたいのですが、「揚輝荘の会」での行政の中の個人々々との関わり方とかはどのようにされているのでしょうか。

水谷：「揚輝荘の会」に限らず、大なり小なり行政の方が関わっておられます。行政の方も、その役割の部署におられる方もみえますが、個人的にこういうことに意識の高い方が関わっておられます。個人的な意識の高い方が関わっているとその会も、行政と市民のパートナーシップもどんどん良い方向にいけます。そうでない方は、自分が職の関わりがなくなると離れてしまうということは、あちこちで見聞きしております。これからは、われわれ市民の中にも意識の高い方がどんどん増えてこないといけ

ないし、リーダーシップをとっていただく方がもっと出てこないといけないと思っています。今日出席された三つの会は、頑張っておられる方があるから継続してやっておられる。ただし、その三つの会がそれぞれ人の問題、お金の問題で悩みを抱えておられます。これは三つの会だけじゃなく、いろいろなまちづくりのシンポジウムで聞いていまして、皆さん同じ悩みを抱えておられる。こうした問題点、課題をどうしていくかというところに、行政の関わりが必要だと思います。

司会：行政も地元

まちづくりのこれから

司会：次に、まちづくりの精神を次世代に伝えることについてのご意見と、各会の目指すべき方向とその課題、あるいはその目指すべき方向に対して障害になっているものというようなことを伺いたいと思います。

臼井：基本的にこの三つの会も、歴史的な文化を今の時代からさらに将来へ向けて保存し、活用していこうという運動だと思います。歴史が将来の世代まで残されているところが、文化として豊かな地域だということになると思います。

美濃路の場合、文化的なものは非常に少ないです。逆に生活の中から作られてきた日常生活の空間が美濃路そのものだと思うので、他の地域と違い文化財を保存しなければいけないという意識がなくて、自由にまちづくりに取り組んでいけるというところがあります。

生活の場としての美濃路は変わっていきますが、共通したイメージが美濃路の中に残されていく。それが美濃路だろうと思います。

後藤：次の世代という意味でいきますと、いかにその町に次の世代が残ってくれるかということだと思います。われわれの場合は、来て良かった、そこに住みたいという意識を持つまちづくりをやりようということと始めました。

また、文化財として山車の200年祭が先日ありました。美濃路の山車ということで万博にも出すのですが、この山車を、次世代へ繋ぐということを真剣に考えています。みのじ会は女性パワーがあります。年二回のイベントも全部中心で進めてくれます。こうした女性の活躍は、お母さんの活動として繋がっていくのではないかと希望を持っています。

司会：日々ずっと生活しておられるのは実際女性ですから、住み良い町とか、暮らし

易い町に対する意識は女性の方が強いのではないかと思いますね。

では「揚輝荘の会」の佐藤さんに、お話を伺いたいんですけども。

佐藤：美濃路さんとか白壁さんが面だとす



水谷氏

れば、私どもはほとんど点ですから、非常に単純な活動をやっているような気にもなってきます。人材にも恵まれ、行政とのパートナーシップも良好にやっている。しかも素材として非常におもしろい。これはやっぱり市民のまちづくりに貢献できるようにしなきゃ嘘だというような誇りと信念を持ってやっているわけですが、ただ古い建物を利用してまちづくりというキーワードはいくらでも、どこにでもあるわけです。何か特徴がなきゃいけない。またリピーターを吸引するという魅力がないことには、一度来たら終わりだということになってしまいます。例えば博物館でも常設展なんて一回行けば良いわけですが、企画展、特別展をやるので、月に一回は行くというようなことで動員力がある。このような感じで魅力あるイベントを企画しなきゃいけない。もうひとつ次の世代というここでは、揚輝荘の歴史が戦前のアジアの留学生を受け入れたことや、日泰寺も戦前のタイとの繋がりが深いということに関連し、覚王山・城山が国際性豊かなゾーンなので、揚輝荘の一角に留学生のコミュニティみたいなものを作って発信していければ、リピーターにも繋がっていくし、若い世代への繋ぎにもなってくると思っています。

また、行政とのパートナーシップも必要だと思いますが、情報交換をする事で発展性にも繋がる、まちづくりグループの横のパートナーシップというのが、必要になってくるんじゃないかと思っています。

川本：次世代に繋げるという意味では、私



川本氏

はお祭というのが大事だと思います。先程の山車の話のように、伝統的な文化を大事にしながらそれを繋げていくという方法もひとつです。町会単位だけではまとまりがなくなるとすれば、もう少し広い範囲の市民、多元的な市民のまちづくりのお祭というのを創出するというのが、大事になると思います。今、揚輝荘も含めたかたちで、山の手音楽祭というのを作っています。それは会とは切り離されたものですが、祭りをやる場所とそこにある建築というのが結構重要なポイントを押めています。その建物の専門家という意味では、建築士の役割というのは新しいお祭を作り出すキーパーソンになり、また次世代を作っていくということに関わっていけるのではないかと思います。

牛田：去年お願いしたアンケートでは、地区世帯数500近くの中から240名近くに答えていただいた。高齢者が中心かと思ったら、実は30代から70代まで満遍無く答えていただいたんです。いろいろな世代からの意見でも、特色ある歴史的な町並みは守り育てる方が良いという方が8割近くあります。新しいマンションにお住まいになられている方も、町が好きで来られる。そういうことがはっきり分かってきた。ただ白壁の場合は住んでみえる方にとって、そこは住まいの場所なので、閑静な住宅街でなぜお祭りをやるのかと嫌悪感を持っています。白壁には、中部経済界の書物に著されるだけでない秘めた歴史というものがあります。そこにその方々がお住まいになっていた、建築を含めた場所があるということをキーワードに出来たらと思います。今後は、貞奴邸という核ができましたので、経済界や地域性の歴史を紐解く文化の道としてみたいことを、住民の方々にもご理解をいただきながら進められたら良いと思っています。

また、若い方を中心に関心の高い、防犯・防災といった問題をきっかけに、この町をどうしていこうかという問い掛けができれば、多くの方に参加していただける土俵ができるのではないかと期待しています。

山本：「町並み保存地区の住環境を考える会」の平均年齢は70歳だと思います。ですから本当に実際に動ける方はいなくなっていました。お子様方はお勤めが忙しくて、年齢的にも断層がございますので、当然話し合えることが話し合えないといったこと

があります。いわゆる縁側同士で喋り合えるような、そういう雰囲気というものが全く無い場所だと思います。それで、困り事があってもどこへ持っていってよいかわからず、自分の中へたたま込んで、それをお出しにならないということになります。建築に詳しい方が核になって「住環境を考える会」を作って下さって、やっと皆さんがどこへ話を持って行ったら良いのかということがわかって、それで一緒に環境を考えていこうということになるのだと思います。

臼井：美濃路というのは、白壁のような文化性の高いところ、あるいは揚輝荘のようなトップレベルの文化を、行政共々支えようというレベルの高いところと違い、日常生活の場でまちづくりを進めています。そういう場合に、建築士という立場だけでまちづくりをやっていると、地域と遊離するのではないかと思うんです。それを一番端的に感じたのは、高層マンション建築の際、町並みに合った建物デザインをしてくれと要望している件です。もし成果がそれだけだったら、われわれは地域の人から見たら、自分達の興味だけでやっていると思われるんじゃないか、ということを心配します。われわれは地域の視点から考え、一番地域の方々が心配している風の問題だとか日照の問題だとかを同じレベルで考えなきゃいけない。さらに、その建物ができることによって地域に貢献できる方法を提案することで、地域と一体になったまちづくりになるのだと思います。

建築士という枠だけじゃない、一市民としての視点から幅広いまちづくりにしていかなければ、根付かないと思っています。

司会：地域にとってプラスになるまちづくりへの建築家の関わり方ということですね。

牛田：本当に、益々隣同士で隔てができてしまう時代になっていく。だからキーワードのように「町並みづくりは営みづくり」という、隣同士顔が見えて何かあった時に、町並みづくりをきっかけに、横の連携を作ることがこれから必要だと思うんです。困った事があっても連携の仕方知らない方のために、まちづくりで関わっている建築士という方々が、少しずつ紐の結びをできるポジションにいたらどうかと思うんです。

【最後に】

司会：まちづくりの中で、その結び目を作る役割ということでの、建築士のあり方ですね。

今日参加の各会のところに、私ども名古屋西支部のメンバーが参画をして、それぞれの建築士の役割を十分発揮しながら活動をして



岡島氏

ています。われわれをきっかけにしながら、まちづくりの会の結びつきがさらにできて、ここからまたいろいろな会へ繋がれば非常によろしいかと思

います。最後はその各まちづくりのネットワークができればということを祈念しながら、この会を終了させていただきたいと思

います。最後に、山田支部長からお願い致します。

山田：本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。皆様よりいろいろな活動と今後の進め方、行政といかに関わりを持つかということに対し、貴重なご意見を頂戴しました。支部として、建築士もこれからいかに地域の中に溶け込むかとい

うことに対し、努力して参りますので今後ともよろしくお願い致します。横との繋がりに関しましても、情報をいただければ会報の中でとりあげ、いろいろな方へ呼び掛けもできますので、お知らせ願

えればと思っています。本日、貴重なご意見を頂戴した結果を今後の活動にお役立ていただければありがたいと思

っております。今日はどうもありがとうございました。

■白壁アカデミア ●設立 平成10年9月1日 ●会員数 20名

●発足の背景・経緯

名古屋市東区の白壁地区（白壁・主税町・榑木町）に残る近代建築物の保存と活用をめざして、地元住民、大学関係者、建築士、まちづくりプランナー、そのほかの近代建築物に関心のある市民によって設立しました。

●活動内容・予定

広く市民に呼び掛けて開催する交流講座、特別講座、臨時講座と、一つのテーマを深く追求する5回連続講座形式の研究講座の4種類があります。最近では、住民の町並み保全やまちづくりに対する関心が高まり、「白壁・主税・榑木町並み保存地区の住環境を考える会」が平成15年12月住民が中心となって設立され、白壁アカデミアが積極的に支援している。

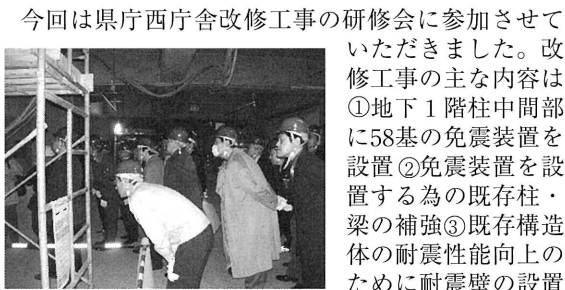
●一言PR／事務局・お問合せ

より多くの人々が白壁地区を訪れ、実際のまちに接する機会を増やしていくため、事務局を故春田鉄次郎邸（武田五一設計）に置いています。

名古屋市東区主税町3丁目6-2（春田邸和館） TEL & FAX 052-930-7668

研修会報告 県庁西庁舎改修工事見学会

2月27日 内田 秀樹



今回は県庁西庁舎改修工事の研修会に参加させていただきました。改修工事の主な内容は①地下1階柱中間部に58基の免震装置を設置②免震装置を設置する為の既存柱・梁の補強③既存構造体の耐震性能向上のために耐震壁の設置④免震層の変位に対応する為の諸工事（エレベーターの改修と新設・1階～地下1階への階段の改修・配管設備の移設及び免震対応継手の設置）以上4項目でした。工事の進捗状況及び施工方法につきましては、鹿島・長瀬特定建設工事共同企業体の伊藤所長より丁寧な解説を受け、この様な大規模改修工事の経験が無い小生でも十分理解できる研修内容でした。改修工事のポイントとしては、効率の良い免震装置の設置場所の選定と施工時における県庁西庁舎の機能・利便性の確保にあると思われました。これらの対策は、

地下1階の食堂を10階（屋上庭園フロア）に移転させ地下1階全面を免震フロアとした効率の良い免震装置の配置計画とされたこと。施工時の県庁西庁舎機能が損なわないよう配慮された免震装置の設置順序を検討されていることで十分対処されていることが良く分かりました。（利便性を重視した為工程に少々無理があったのかなとか？）

改修総工事費約20億円（この建物を現在新築すると、200億円以上必要とのこと）の工事費と平成7年に始まった補修工事基本計画から竣工まで約9年間を費やす工期に対する意見は賛否両論あると思われます。後世に残すべき建築物であると共に耐震改修工事の手本に成り得る公共事業として賞賛されるようにこの県庁西庁舎の耐震改修工事が民間建物の耐震改修意欲を助長する存在になってもらいたいと思います。

今回の研修報告において耐震改修工事の技術的な報告が希薄になってしまった事を深くお詫びいたします。

余談ですが、愛知県西庁舎が竣工した1964年6月に小生も生まれました。改修工事を拝見しまして、西庁舎と同級生の小生もそろそろ“体心診断”をする必要があるのでは？と思っている今日この頃です。

美濃路ウォッチング

『美濃路まちづくり4市町連絡会議』

美濃路まちづくり推進協議会 臼井 鏡造

平成10年9月から愛知県の助成で始まった私達のまちづくりも、平成12年から行政の助成がない独自の活動へ移り、行政との新たな協力関係を模索していました。

平成14年5月、西枇杷島町の協力により、念願の空町家を再生活用した、まちづくりの拠点「みのじの館」を開業し、私達のまちづくりもようやく足が地についた「かたち」ができました。そんな折、先に応募していた、読売新聞主催日本の「遊歩百選」に「“美濃路”名古屋城～清洲城」が愛知県内からただ1ヶ所選ばれました。「日本を代表する観光地から『自然と歴史を再発見する旅』の楽しめる地域100ヶ所を選んで顕彰する」ものです。「百選」選考により、応募主体の名古屋市（私達協議会が資料を作成しそれを元に市が提出）は、行政として取組むべきことを検討され、他の3町と協議し「美濃路まちづくり4市町連絡会議」を立ち上げるようになりました。（詳細については、本誌第36号参照）平成15年度からは4市町とも予算化され、まちづくりコンサルタントとして「都市研究所スペースシア」が参加し、情報収集など強力な活動部隊の役割を担っています。西枇杷島町では、「広報誌に美濃路4市町まちづくり情報」を毎月掲載しています。

このように、私達のまちづくりもようやく行政との協力関係ができ、15年度愛知地域貢献活動センターの助成団体に選考された講評のなかで、「活動の実績は素晴らしいものがある。地域と行政との関係も良好で、着実に粘り強い活動である。」と評価されました。

民間の活動を行政が支援するこれからの行政のあり方を先取り、さらに、町村合併地域間の絆の役割も担ってまちづくりは進んでいます。



例祭日の屋根神様

山歩き同好会

雨の山歩き 11月9日 森 登

恵那山南東に位置する大川入山は、中央アルプスの最南端。私は毎冬治部坂に来ますがこの山は意識の外でした。地図の東方には南アルプス。光岳、上河内岳、聖岳、赤石岳……。懐かしい山々と再会できる期待は秋雨に裏切られ、参加者9名は雨具姿です。大休憩を楽しむどころか食料を頼張りながらの樹間歩きになりました。シンドイののですが、樹間を抜ける辺りではガスで真っ白な空間の中にポツカリと熊笹のギザギザ道、方向時間重量感覚のない異次元空間が出現しました。頂上では一筋の陽に疲れが飛んで、下山中は雨上がりの雲の切れ間から洗われた秋の山並が見え隠れします。晴れた山歩きとは別の味わいです。見える要素を減らす、当然のことを再認識し、建築デザインのエッセンスに通じるようなものを見つけたことが出来ました。春の大川入山は絶景でしょうね。



大川入山山頂にて

支部長杯ゴルフコンペ

12月9日 関本 正之

昨年暮れ、平成15年度支部長杯ゴルフが富士カントリー倶楽部にて行われました。12月のこの時期やはりチョット寒かったがプレイが始まるにつれて体温も上昇。後ろの組からYOさんの掛け声がとても心地よい。「good shot!」そう、ゴルフは楽しむスポーツなのだ。やっている人は一度は感じたことがあると思いますが、【今日イチ】というやつがあります。これがあるとなんて云泥の差が出来てしまう。帰りの車の中では楽しかったな～と思ったり、難しかったな～、あそこでOBがなければとかあのバンカーで3つも叩かなければとか…それはもう反省の山であります。今日イチというのがあったとその感触はかなり長く続きます。なぜなのか？記憶力がいいのか想像力が逞しいのかよく解りませんがとにかく懲りずにまた行くのがゴルフのようです。今日イチを10コ位求めて！YOさんはこの日一番元気でみんなを楽しませてくれました。尾野好之さん 優勝おめでとう！（参加者求む：主催者）



優勝した尾野さん(右)

16年度通常総会のご案内

日時 平成16年4月22日(木) 午後6時～
場所 ホテルナゴヤキャッスルプラザ
懇親会 午後7時～ (会費 5,000円)
◆青年部総会も同場所に於いて午後5時15分より行います。

年度締め括りと新年度開始のため事業報告・収支決算報告・新年度事業計画・収支予算などを審議決議致します。今年度の成果と来年度の計画を会員の皆様とその目でじっくりとお確かめになり、「しっかり頑張れ。」「よくやった。」などとお声を掛けてくだされば役員一同励みになります。会議後は懇親会も同会場にて企画致しております。

会費納入のお願い

日頃、会員の皆様には名古屋西支部の事業にご協力を頂き有難うございます。平成16年度を迎えるにあたり、今年も本会会費の納入をお願いする時期が参りました。正会員の皆様には、定款細則により会費18,000円を前納することになっております。その内の25%が支部交付金となり、支部運営、各事業を行う貴重な財源となっております。併せて、2005年全国大会会員負担金2,000円も前納していただくことになっております。

つきましては、同封の郵便振替用紙にて4月23日(金)までに、納入していただけますようお願い申し上げます。

名古屋西支部 新入会員紹介

H16.2.3

地区	氏名	生年	自宅住所	自宅TEL	勤務先
西春日井	尾野 忠施	S45	〒480-0202 西春日井郡豊山町大字豊場字中之町276-6	(0568) 28-2072	尾野建築設計事務所

For Beautiful Human Life

カネボウの提案 環境適応型防水にしませんか

地球環境にやさしい

地球環境に優しい無公害素材
シートは従来の塩化ビニール系シートのような塩素原子及び可塑剤を全く含まない為、ダイオキシン・環境ホルモン等による環境汚染がない。

抜群の信頼性
シートの接合は熱融着による完全一体接合で信頼性が高く、耐久性に優れる。

改修工事に最適
ディスク・プレートによる機械固定工法の為、下地の影響を受け難く、コストの低減、工期の短縮等が図れる。

カネボウ化成株式会社 名古屋支店
名古屋市中村区名駅四丁目17番19号鐘紡ビル
TEL. 052-581-1271 FAX. 052-563-7877

オール電化 Along the New Way

ALL DENKA

今、住まいの新しいスタイル「オール電化」が注目を集めています！

一度実際に「見てみたい」「使ってみよう」そのほかオール電化住宅に関するお問い合わせは

中部電力 中村営業所
TEL.052-471-9247

木を愛し、住まいを守る

株式会社 アイキ

(旧社名 株式会社 中部しりありセンター)

本社 名古屋市天白区八事天道913番地 Tel.052-834-1010(代)

代表取締役 田中 研一

株式会社 油 久

本 社 名古屋千種区萱場1-6-19 TEL(052) 722-2116

静岡営業所 静岡市中田本町14-48 TEL(054) 286-4621

小牧配送センター 小牧市大字村中1200-2 TEL(0568) 76-4386

矢田配送センター 名古屋市中区矢田南2-13-2 TEL(052) 722-1818

「青年部研修親睦会“愛・地球博”（建設工事）

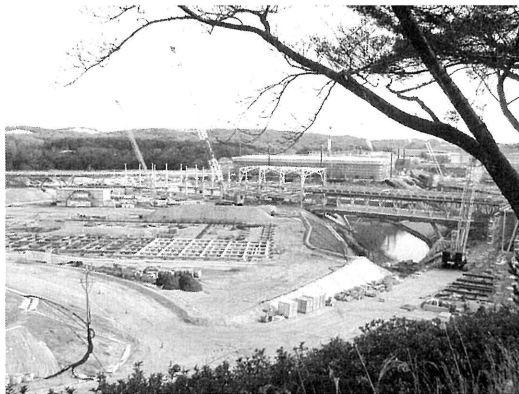
会場見学会」に参加して

船木 周

2月8日(日)、この時節にしては比較的穏やかな天候に恵まれ、表題の事業を実施することができました。当日は、昼過ぎ会場近くのレストランにて親睦事業として昼食会を行った後、万博会場に移動し、見学会に参加しました。開幕を約1年後に控えた現在は、まだ全様の骨格すら見ることはできません。しかしながら、会場の目玉である「グローバル・ループ」(空中回廊)の鉄骨工事や政府館の基礎工事も始まっており、「いいよだな!!」という実感は感じることができました。本博覧会は“自然の叡智”をテーマに開催されます。いかなる感動を与えてくれるのか、今から楽しみです。7才で観た大阪万博

は、幼いながらにアポロが採集した“石”に感動した記憶があります。ガイドの方の説明によると今回のシンボルは“マンモス”だそうです。

どんな形で私たちの前に出現するのでしょうか!?お楽しみに!!建築士会の皆さん、是非一度、この見学会に参加してみてください。建築に携わる一員として、万博を観る前にその建設の様子も見てみては!?見学会は博覧



会協会の主催で今年いっぱい、毎月第2、4日曜日に実施されます。

次の公式サイト

<http://www.expo2005.or.jp>からも申し込みできます。最後になりましたが研修会に御参加下さいました21名の皆様、御協力ありがとうございました。



① ITスキルアップ ③

「自作で快適ホームページの作成」

今回はいろいろなタグを説明します。
⑩ 開く:前回の「meisei.html」を開きます。

⑪ 入力:図のようにタグ、文字を追加する。

⑫ 保存確認:ファイルを上書き保存して、ブラウザ画面で表示してみましょう。

⑬ タグ解説:

```
<body bgcolor="#ffff00"
text="#0000ff">
```

本文</body>bodyタグのオプションで基本の背景色は黄色、文字は青色と色の指定をしています。色の表現はRGBの混色で#ff0000(赤色)や#00ff00(緑色)のように0~9,a~fまでの16個の英数字で表現されますredやyellowと英字で指定しても読みこまれます。<center></center>文字や絵のセンターリングをする。

```
<table border="1"><tr><td>文字</td></tr></table>
```

```
<a href="mailto:メールアドレス">文字
```

メールウインドウを開かせることができます。文字タグで囲まれた文字の色やサイズを指定する。

以上で簡単なHP作成の解説を終了します。これで興味を持たれた方は、もっと多くのタグがありますので、是非、HTML関連の書籍等を参考にして、ご自分のHPを作ってみてください。そして出来あがったHPを全世界に発信しましょう。名古屋西支部でもリンクの募集をしています。

```
<html>
<head><title>めいせい</title></head>
<body bgcolor="#ffff00" text="#0000ff">
<center>
<table border="1"><tr><td>
名古屋西支部では、IT特別委員会が<br>支部の<b>ホームページ</b>を発信中</td></tr></table>
<br>
<font color="red" size="5">
ホームページリンク募集中!</font>
<a href="mailto:it@e-meisei.net">こちらまで</a>
</center></body>
</html>
```

『女房と畳は新しいほうがいい』なんて心の中で呟いている殿方がまだまだ多いようですが、実際は口に出して本当に熟年離婚されては困るし、逆に女性から反論されるのが今時の男性です。

でも、振り返ると私も家で髪ボサボサで楽な服(息子や娘のお古だったりして)で家事におわれてます。私も新しい畳みたいにステキでいたい!家を新築しなくてもリフォームでステキな家にできるように、奥様をステキにしましょう!例えば、デパートで流行の服を揃え、月に一回は美容院に行き、おまけにエステにも通えば私たち女性は間違いなく新しい畳に変身しますが・・・。

主人のお小遣いを減らしてもそれは無理。何かもっと手軽に簡単にできることはないのかしらと探していた出会ったのが、縁あって講演会を企画した、かづき氏のお小遣い

ピリメイク』です。リハピリメイクは外傷や疾病などによって顔に損傷を負った人の社会復帰を支援する為のメイクアップのことですが、かづき氏のリハピリメイクは普通の人もスポンジひとつで元気にするのです。毎日メイク前に30秒ほどスポンジで顔の血流マッサージをするのですが、10歳くらい若返ったよな感じがしています。そうなるとなんだか心も元気に明るくなってくるんです。不思議ですね。

足の小指を椅子にぶつけて骨折(こんなことで骨は折れちゃうんです!)して以来毎日飲み続けている、きな粉牛乳と、かづき氏の

血流マッサージが私のおすすめです。どっちもお金がかかってないので、結婚25周年にはどーんと張り込んで『僕のおすすめ』をプレゼントしてネ。

あ・な・た・・・・。

あ・な・た・・・・。

コラム

建築家または建築士は市民権を得たか

建築家の建てる住宅は、今ちょっとしたブームである。テレビをつけると実に多くの番組があり、デザインを競い合っている。しかし流行りのものはいずれ大衆から飽きられるのが常、そろそろ次のネタを探しているところではないだろうか。今、建築家のイメージは急速に消費されている。この先をつい危惧してしまうのは私だけではない。

もっとも、今の状況、良い面もある。建築家または建築士の存在が市民に受け入れられてきている。今までは別世界の存在、または工務店付属の“設計士さん”という程度にしか認識がなかったはずだ。それが建築家または建築士の存在をある程度アピールできたのもこのブームの恩恵である。

しかし今の消費されている状況には目に余るものもある。表層だけデザイナー仕立てにすればよ

いという実に安直な建物がいかに多いことか。建売などの今までの建築システムの上に、さらっとデザインをふりかければ、憧れのデザイナーズ住宅ができると思っているし、施主にもそんなイメージを抱かせている。まともに現場監督もいないようなそんな現場でずいぶん虫のいい話である。

建築家または建築士が建築をつくる時は、単に表層のデザインをするだけでなく、施主の生活、社会との関係なども含め、多くの事柄を整理して統合する、実に総合的な仕事なのである。

そのような建築家または建築士の仕事をしっかり説明し、そのための報酬を堂々と主張すべきである。社会の方でもそのことを受け入れる土壌が、出来上がってきている。その上で責任のあるプロとしての仕事を誇を持って行えば、今の状況を単なる流行に終わらせず、真に市民権を得ることになるだろう。

(H・A)

建ちく川柳募集



『建ちく川柳』のコーナーが始まります。昨今、川柳は静かなブームになつていて、はまっている人もたくさんいる様です。おなじみの第一生命が毎年募集している『サラリーマン川柳』のその年のベスト100などはとても楽しく面白く、鋭いものがあります。日本文化が生み出した五七五の十七文字に日常のさまざまな思いを込めて川柳に挑戦してみませんか。人生の憂いや切なさ、はたまた怒りや不満、加えて世の中に對する痛烈な批判や比喩など是非『建ちく川柳』にご応募ください。宜しく願います。

※住所氏名とペンネームを書いてFAXにて応募下さい。●掲載作品には図書券をプレゼント

◆設計料 あっても無きもの 時間給 薄給設計士

◆建て主を 選べないわよ このご時世 苦勞人

◆断面図 日影斜線で 断念す 未熟者

◆断念す 日影斜線で 断念す 未熟者

◆断念す 日影斜線で 断念す 未熟者

◆断念す 日影斜線で 断念す 未熟者

◆断念す 日影斜線で 断念す 未熟者

◆断念す 日影斜線で 断念す 未熟者

◆断念す 日影斜線で 断念す 未熟者

◆断念す 日影斜線で 断念す 未熟者

◆断念す 日影斜線で 断念す 未熟者

◆断念す 日影斜線で 断念す 未熟者

◆断念す 日影斜線で 断念す 未熟者

◆断念す 日影斜線で 断念す 未熟者

◆断念す 日影斜線で 断念す 未熟者

内装・造作工事一式・銘木・新建材・住宅機器

向井木材株式会社

本社 〒460 名古屋市中区千代田4丁目16番24号
電話 (052) 321-2968(代)
三好 〒470-02 西加茂郡三好町大字筋生字水洗8-2
営業所 電話 (05613) 4-2778(代)

ドームからテントまで

世界中で大空間構造物にチャレンジ



太陽工業株式会社

東京(03) 3714-3331・名古屋(052) 541-5111・大阪(06) 306-3111
札幌・仙台・広島・福岡・アメリカ・台湾・シンガポール・ドイツ
インターネットアドレス <http://www.taiyoko.co.jp>

内・神内・心内・消・外・整・脳外・皮泌・理療・放

医療法人 珪山会 鵜飼病院

理事長 鵜飼昌訓 院長 高橋英世

〒453-0025 名古屋市中村区賑町26 ☎(052) 461-3131(代) FAX(052) 483-4798

鵜飼リハビリテーション病院

〒453-0028 名古屋市中村区寿町30 ☎(052) 461-3132(代) FAX 461-3231

老人保健施設 第一若宮

〒453-0028 名古屋市中村区寿町30 ☎(052) 461-3175(代) FAX 461-3231

中部リハビリテーション専門学校

〒453-0028 名古屋市中村区寿町7 ☎(052) 461-1677(代) FAX 471-2333

中部看護専門学校

〒453-0028 名古屋市中村区寿町29 ☎(052) 461-3133(代) FAX 483-0873

4校とも学校案内書配付中

学校法人 珪山学園 日本聴能言語福祉学院

〒453-0023 名古屋市中村区若宮町2-14 ☎(052) 482-8788(代) FAX 471-8703

(学) 日本医療福祉専門学校

〒453-0023 名古屋市中村区若宮町2-2 ☎(052) 482-8878(代) FAX 482-8155

建築基準法解説シリーズ

令第46条の解説

解説担当 馬場 富雄

今までは個々の筋かいについて、お話ししてまいりましたが、今回は筋かい全体の話にはいります。例によってまず条文を掲げます。

(構造耐力上必要な軸組等)

第46条 構造耐力上主要な部分である壁、柱及び構架材を木造とした建築物にあっては、すべての方向の水平力に対して安全であるように各階の張り間方向及びけた方向に、それぞれ壁を設け又は筋かいをいれた軸組を鈎合良く配置しなければならない。

2項、3項、4項省略

壁を鈎合よく配置する10項目 (その8)

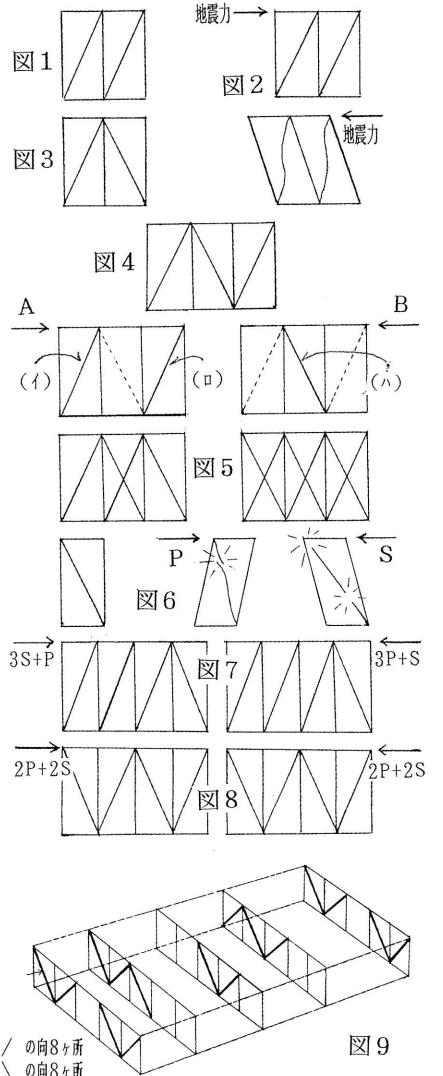
筋かいの向は $\diagup \diagup \diagup \diagup$ $\diagdown \diagdown \diagdown \diagdown$ それぞれ同本数にすること。

今まで筋かいについて、ずっとお話ししてきましたが、今一度復習としてお話しします。筋かいの力学上の種類として引張力だけに働いて圧縮力には全然働かないもの(例鉄筋ブレース)と引張力と圧縮力どちらにも働くものがあります。単純な例で説明しますと図1のようなものを鉄筋ブレースで設計したとします。地震力はあらゆる方向より加わる事を前提として設計しなければなりませんので、建物の左右どちらから力が加わっても倒れないようにする必要があります。そこで図2の説明にはいります。左からの地震力に対してはブレースが引張力に抵抗し変形が起きません。

今度右からの地震力に対してはブレースが圧縮力に耐える事が出来ませんので図のように建物はたちまち倒れてしまいます。ですから図3のように設計しなければなりません。あまりにも幼稚な話から始めて申し訳ありませんでしたが次の段階へ進めます。図4のような設計例について説明します。一見構造

的には不安定を感じないような設計ですが、非常に問題があります。地震力Aに対しては(イ)と(ロ)2本が抵抗しますが、地震力Bに対しては(ハ)1本だけの抵抗となります。「それで、もてばよいのではないか」とおっしゃる方があるかもしれませんが、極限の地震力を考えたときに(施行令ではこれを保有水平耐力と呼んでいる)Aに対しては筋かい2本分の抵抗があるのに、Bに対しては筋かい1本ですのでAの半分の力で倒れてしまうことになります。建物の左から加力したときと右から加力したとき、その「丈夫さ」が違うという事は構造計画上好ましくないことであり、決してよい構造計画とは言えません。この場合は図5のように設計するのが適切です。今までの話は引張だけに抵抗できる鉄筋ブレースの話でしたが今度は引張にも圧縮にも耐える筋かいを設計したらどうなるかという話にはいります。引張、圧縮どちらの力にも耐えるのだから筋かいの向きなど関係ないという考えも全然間違っているとは言えません。しかし先程お話しした極限の地震力を考えますと、又々若干の問題があります。今回皆様にお話ししたいのはその事なのです。すなわち引張、圧縮どちらにも耐える筋かいで設計しても、その向きはやはり、 $\diagup \diagup \diagup \diagup$ $\diagdown \diagdown \diagdown \diagdown$ それぞれの向きを同本数にするという事が非常に大事な設計条件なのです。ではその理由をお話しします。モデルとして図6のような引張、圧縮どちらでも耐える筋かいを仮定します。加力Pの極限力を考えますと、筋かいが座屈を起こして、その曲った時か、あるいは部材が圧壊した時の値です。他方極限力Sの方は引張力Sのため、仕口の部分が破壊した時か、あるいは引張力により部材が破断した時の値です。この引張の時と圧縮の時の極限力が全く同一という事はまずありません。相当な差があるかも知れません。そこで図7の説明にはいります。もし筋かいの向きなど、どちらでもよいという事で向きを適当にして図のような設計をしたとしますと極限の力が左右でどうなるかを考えます。先程の話で引張破壊の極限をS、圧縮破壊の極限力をPとしましたから、これを用いて左方から加わる水平力の極限力を表わしますと $(3S+P)$ となります。右方からの極限力を表わしますと $(3P+S)$ となります。左方と右方の力の差を計算しますと $(3S+P) - (3P+S) = 2(S-P)$ となり、SとPが同じ値でない限り0に

はなりません。すなわち右方からの加力と左方からの加力では建物の丈夫さが違うことになるのです。そこで図8のように設計しますと、右方からの極限力と左方からの極限力が同じ値になり適切な設計となるのです。筋かいの設計がこのようになるには、どんなふう考えたらいいかと申しますと長さ3尺の壁を1モジュールと考えて、その壁の数を偶数に設計すれば良いのです。どうしても奇数になったときはその一つをたすき掛けにします。建築士たるものは、設計に当り必ず軸組図を書いて筋かいの向きを図示して下さい。平面図の壁に△印を記入するだけでは良い耐震構造は実現しません。参考までに図9の見取り図を書きました。次回は同じく筋かいの向きについて1階と2階との関係を説明致します。



当選者決定!! 記念40号プレゼント

愛・地球博チケットプレゼント

30号に続き今回40号でも記念プレゼント実施! 「愛・地球博の入場券」を10名の方に。
当選者は既に判明・・・実は封筒にチケットが入っています。(支部長立会いのもと厳選なる抽選にて決定)
当選されたみなさま「おめでとうございます」

◎御当選者の方々

小原正紀様	鏡 哲也様	金子隆美様
鈴木康仁様	竹田浩教様	梨谷真美様
日置和男様	水野正二様	八神秀隆様
吉田富夫様		

春夏秋冬

ほうれんそう
報連相って大事ですよ...

少し前まではインフルエンザといえは人間のかかる病気でしたが、今はすっかり鳥の病気として有名になっていますね。毎日の食事のことを考えなければならぬ妻(母)としては、牛肉もだめ、鳥肉もだめ、一体何を食べたらよいのか悩んでしまいます。

京都の事件も、もっと報連相(ほうれんそう)をちゃんとしていれば、こんなにも騒ぎは大きくならなかったのでは?と思います。もちろん家族の間でも報連相は大事ですよ。だんなや子供にもきちんと報連相する様にしっかり教育なくっちゃ!!

電話1本で奥様の機嫌は直っちゃうかもしれませんよ。
くろねこの妻

編集後記

特集「これからのまちづくり」と建築士の関わり方」はいかがだったでしょうか? 座談会に出席された方々のまちづくりに対する熱い思いを、肌で感じる事ができ、貴重な経験をさせていただきました。この思いが少しでも読者の皆様に伝われば良いな~と思っています。この記事を読み、興味を持たれた方はぜひ会に遊びに来てください。西支部を始め、各会とも皆様の参加を心よりお待ちしております。 子連れ狼

電子入札対応認証サービス

国土交通省・各自治体における
公共工事の電子入札に必要な、
ICカード・カードリーダーを
販売致します。



ICカード 通常価格 1枚 45,000円
(有効期間3年1ヶ月)

キャンペーン価格 **30,000円**

<http://www.well-on.co.jp>

株式会社 **ウェルオン**

営業本部/〒464-0858 名古屋市中村区千種二丁目1番28号
TEL (052) 732-2227 FAX (052) 733-3178
e-Mail: info@well-on.co.jp

ICカード・カードリーダー 販売のご案内

カーテンウォール外壁材、ウォールKCC 設計・施工 (Wn1195)
高断熱・高気密バリアフリー住宅スチールハウス設計・施工

かねくら工業株式会社

〒452-0805 名古屋市中村区堀場町387番地 TEL(052)501-8161 FAX(052)503-7214

リフォーム・リニューアル工事

集合住宅・ビル・マンション・一般住宅・倉庫・工場・営業店舗

常に相手の立場で提案する、ソフト&アイデンティの責任施工



株式会社 **ムラテ**

URL <http://www.murate.com/>

〒453-0861 名古屋市中村区岩塚本通1-51 TEL052-411-8111 FAX052-413-1036
津島(営) TEL 0567-31-0780 名岐(営) TEL052-400-1291



人と地球にやさしいOAフロア

ネットワークフロア・Eco

エコマーク認定 第96064010号

共同カイトック株式会社

<http://www.ky-tec.co.jp>

中部FS営業所 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-8 TEL 052-581-0204